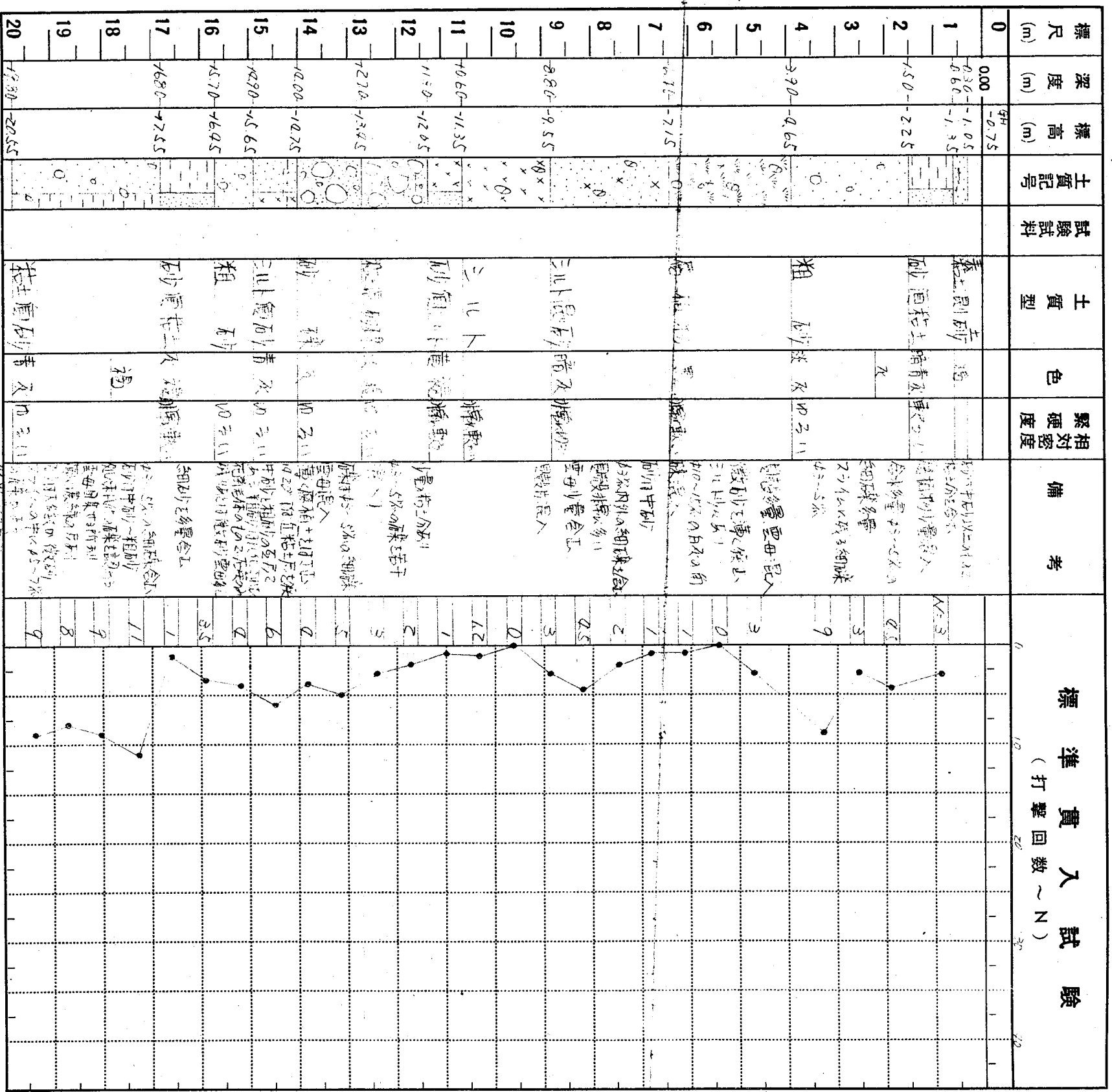


土質柱状断面図 (第 2-1 図)

調査地点 B-1

調査年月日 昭和 37 年 12 月 1 日 ~ 12 月 3 日

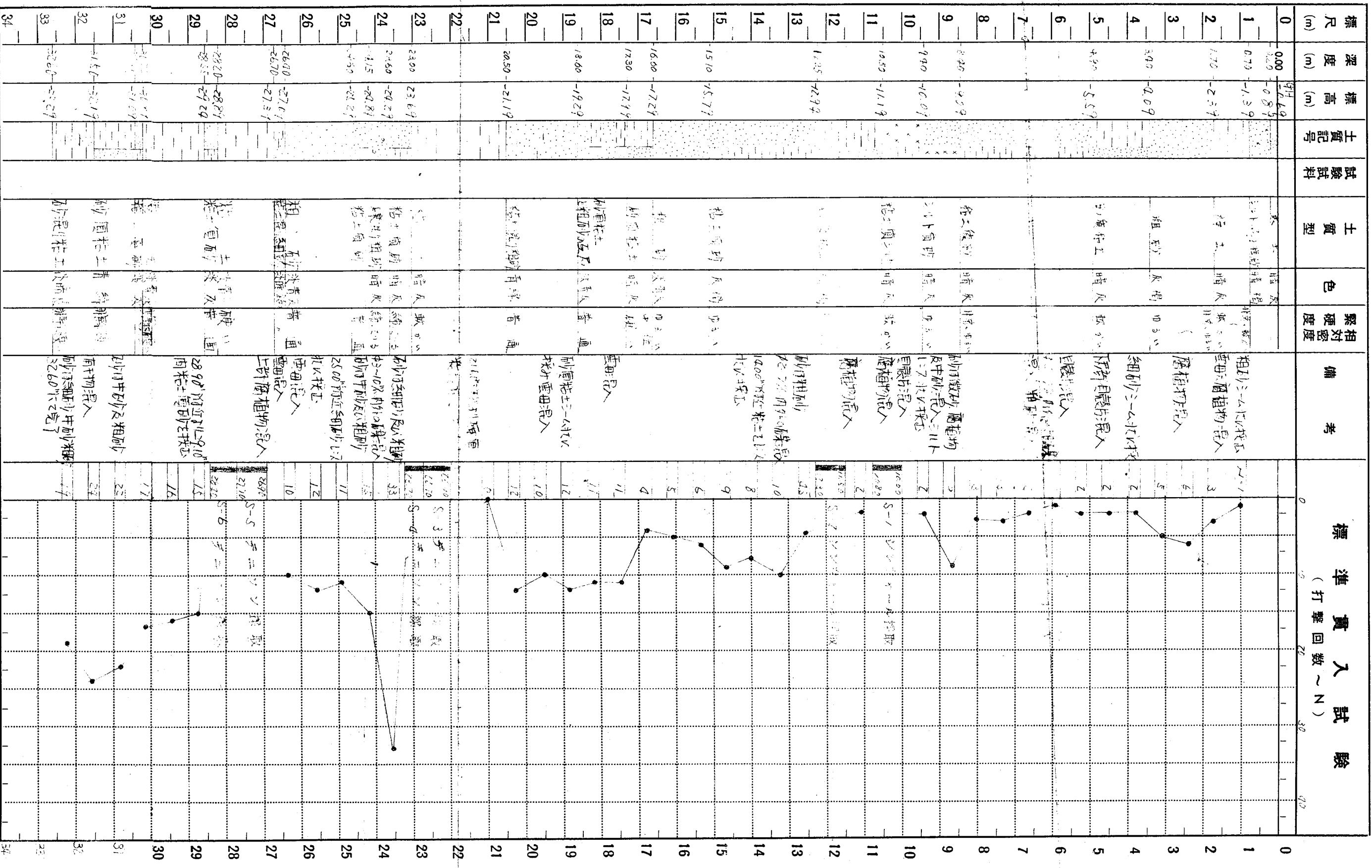
ボーリング方法 ローター式
サンプリング方法 液状土採取
地 下 水 位



土質柱状断面図 (第 2-2 図)

調査地点 B-2
 調査年月日 昭和 37 年 12 月 7 日 ~ 12 月 12 日

ボーリング方法 四角錐式
 サンソング方法 標準式
 地下水位 -0.55m



土質柱状断面図 (第 2-3 図)

調査地点

B-3 (1)

調査年月日

昭和37年12月13日～12月19日

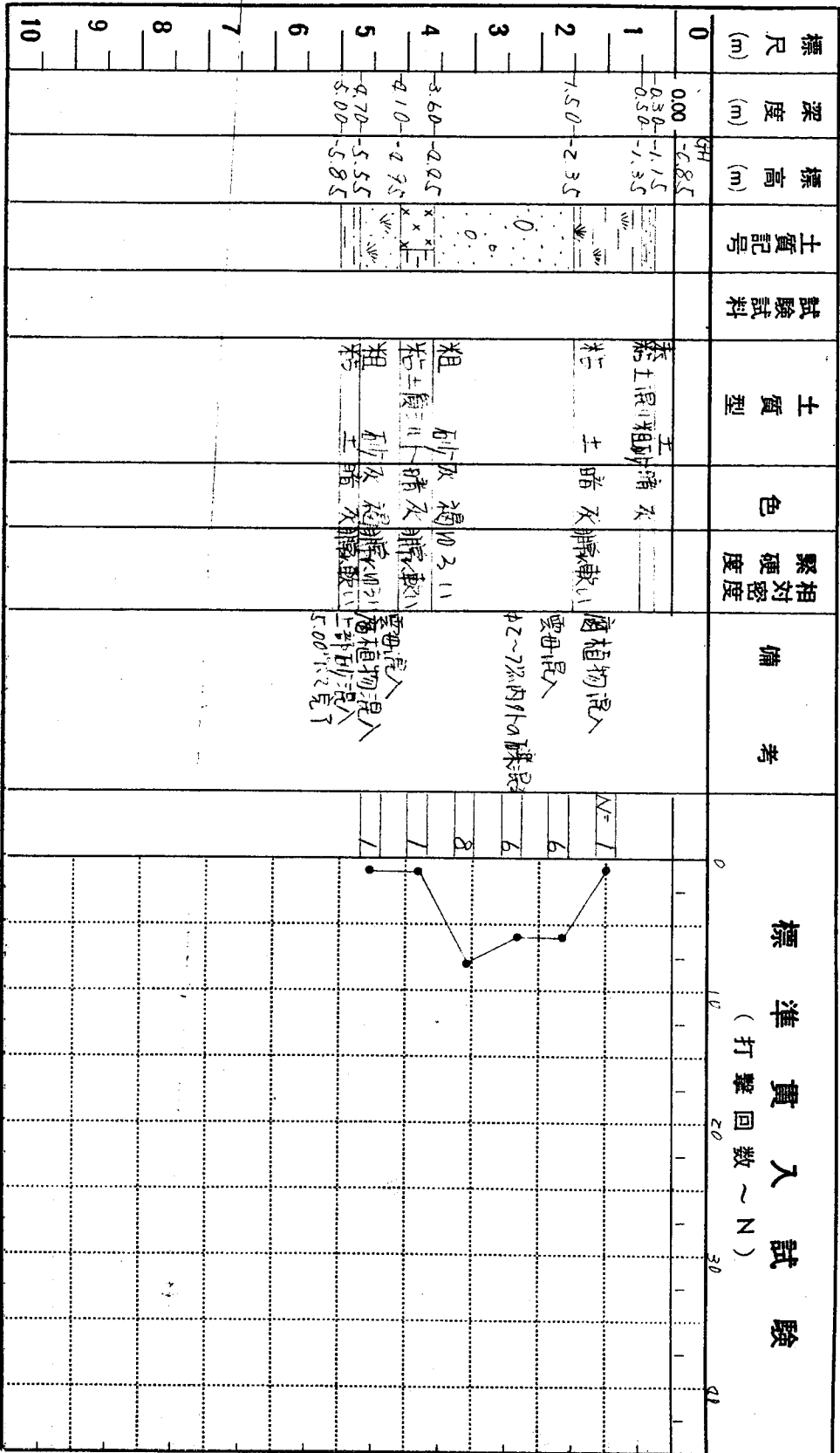
ボーリング方法
サンプリング方法

ロータリー式
標準貫入試験

酒令

地下水位

-0.00M



土質柱状断面図 (第2-4図)

調査員 三木

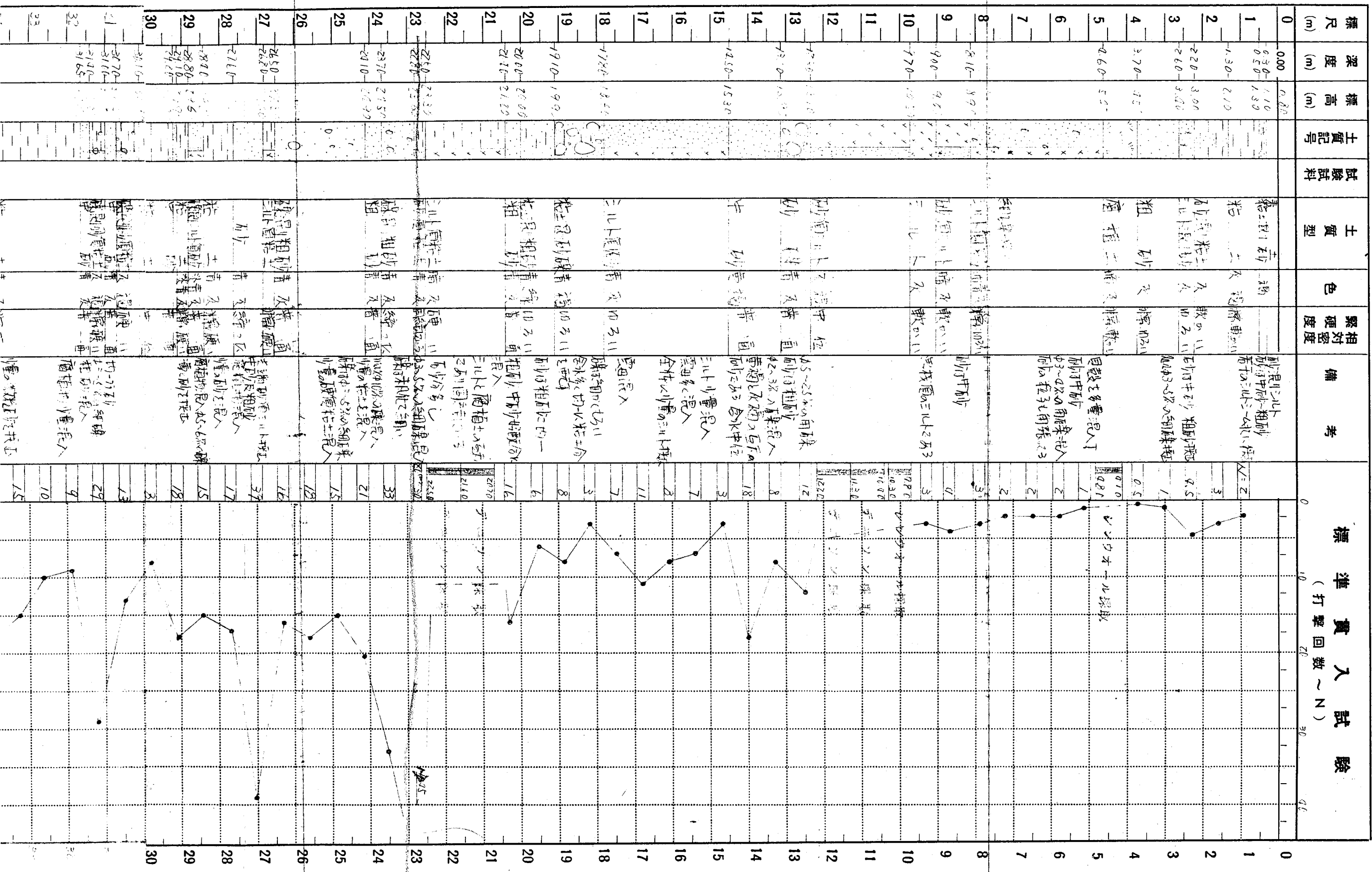
調査地点
調査年月日

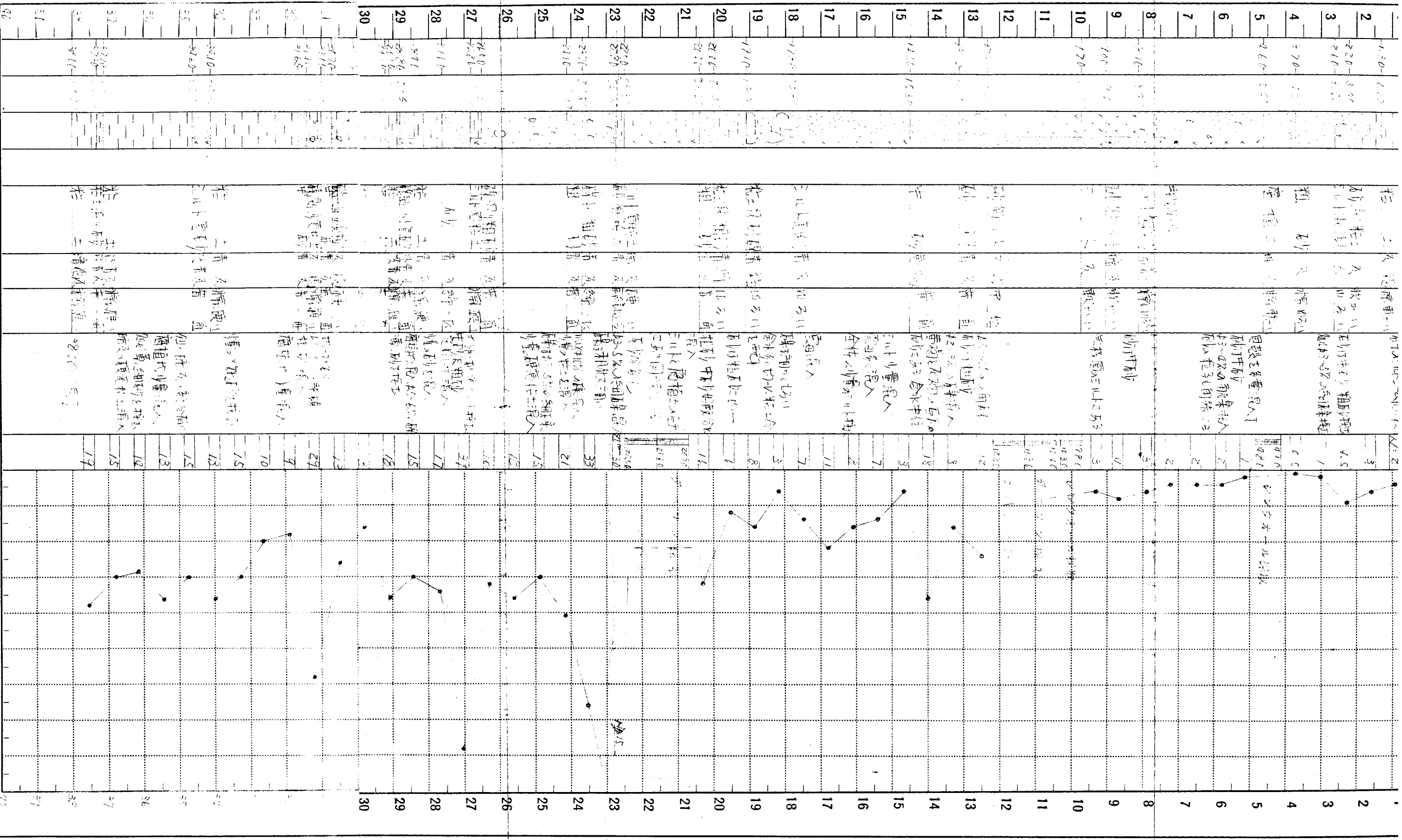
昭和37年12月8日~12月14日

ローリング方法
サンプリング方法
地下水位

ロータリ式
標準貫入試験器を用いた

標準貫入試験
(打撃回数~N)





鳥取県西部総合事務所

増築地質調査委託

報告書

昭和54年7月

発注；鳥取県米子土木出張所



株式会社 **サンイン技術士センター**



調 査 概 要

1. 調 査 名 ; 鳥取県西部総合事務所増築地質調査委託

1. 調 査 場 所 ; 米子市鞆町1丁目

1. 調 査 内 容 ; 試 錐 ($\phi 66 \text{ mm}$) 2ヶ所 延 115.3 m
標準貫入試験 (JIS-A-1219) 計 115. 点

1. 調 査 期 間 ; 自 昭和 54 年 6 月 6 日
至 昭和 54 年 7 月 6 日

1. 使 用 機 器 ; ロータリー式試錐機 1 式
標準貫入試験器 (JIS-A-1219) 1 式

1. 発 注 者 ; 鳥取県米子土木出張所

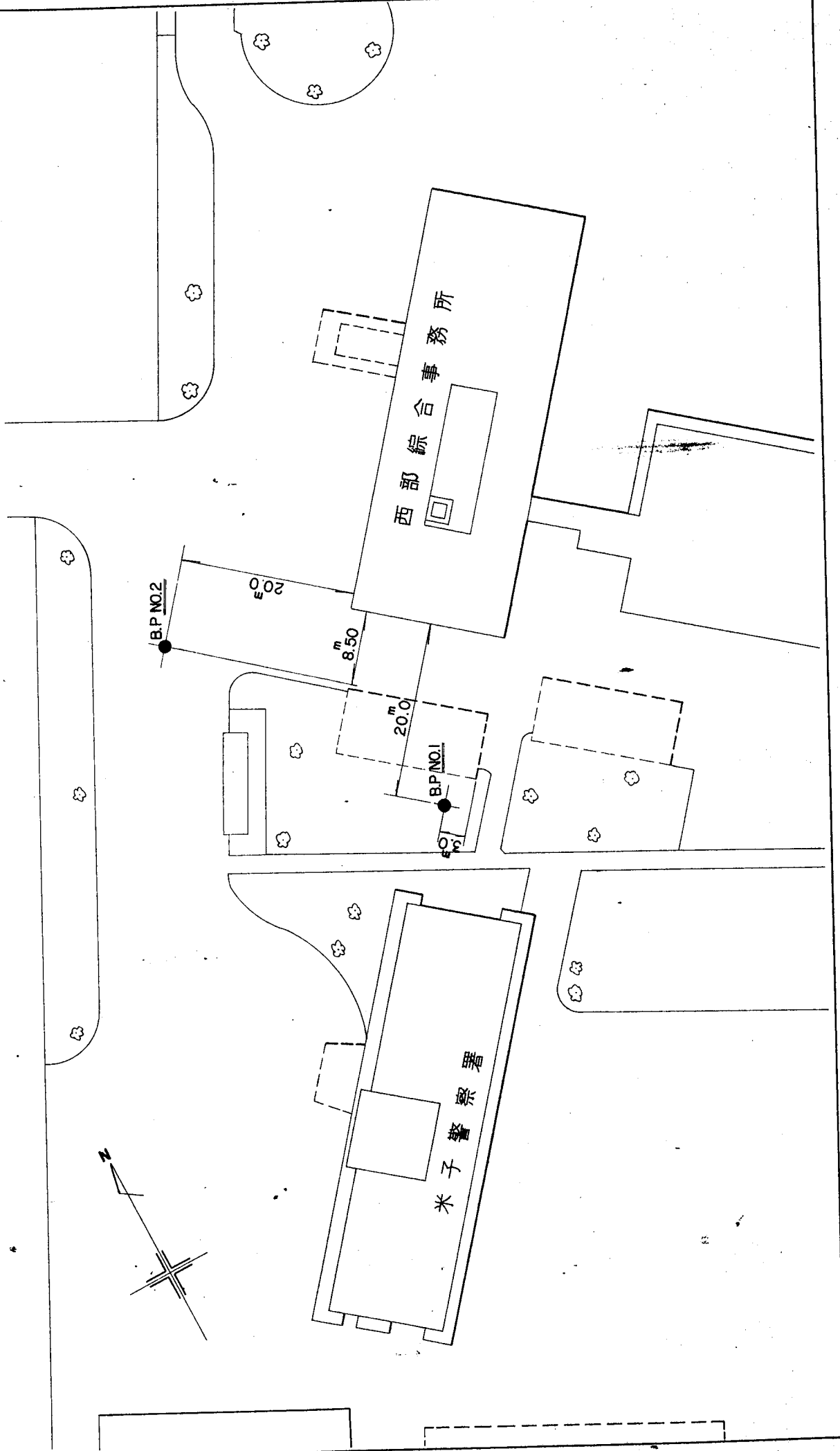
1. 調 査 ; (株)サンイン技術士センター

現場主任・解析 川上 詔 照



図-1.1

調査地奥位置図 S=1/600



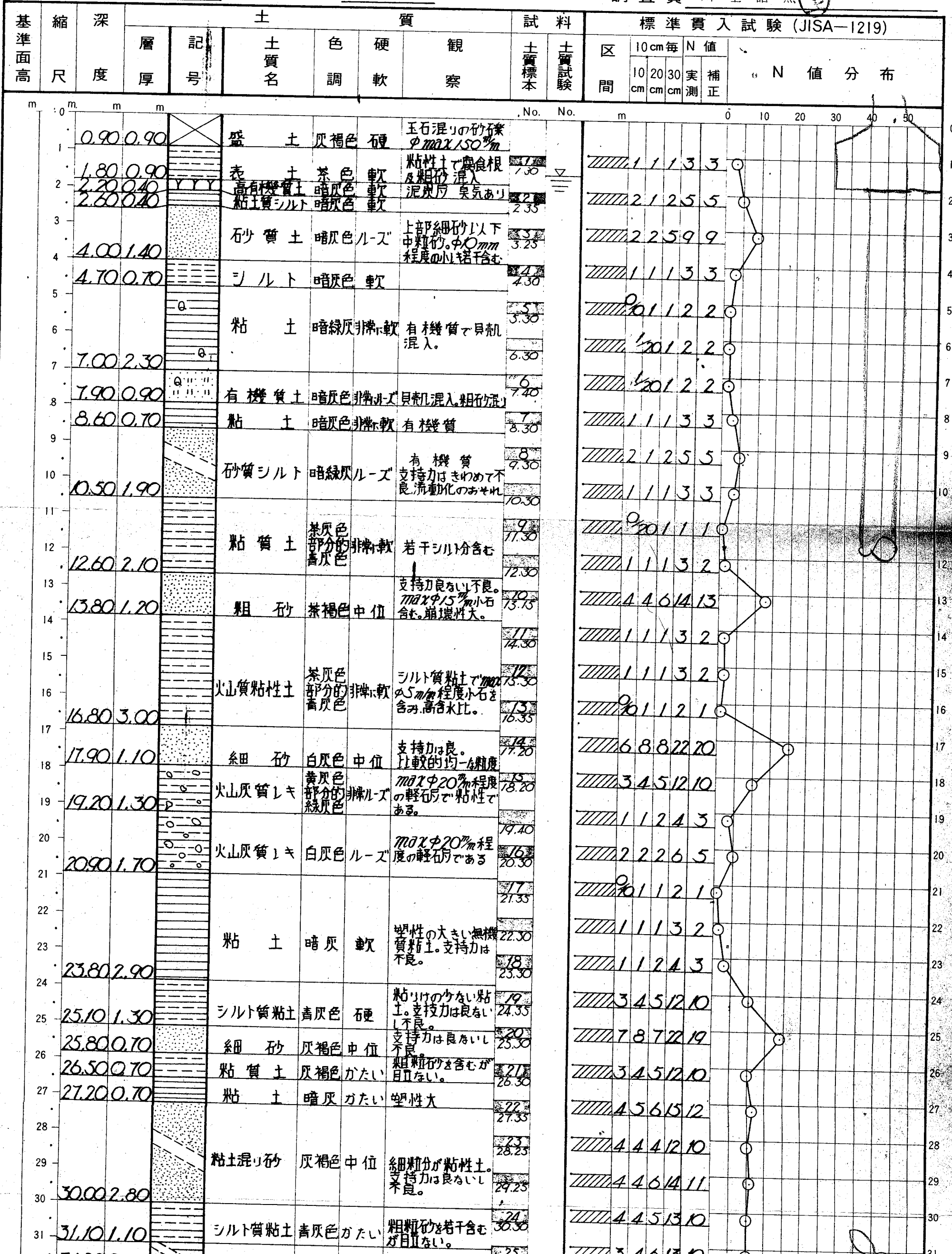
No. 1 地点

土質柱状図

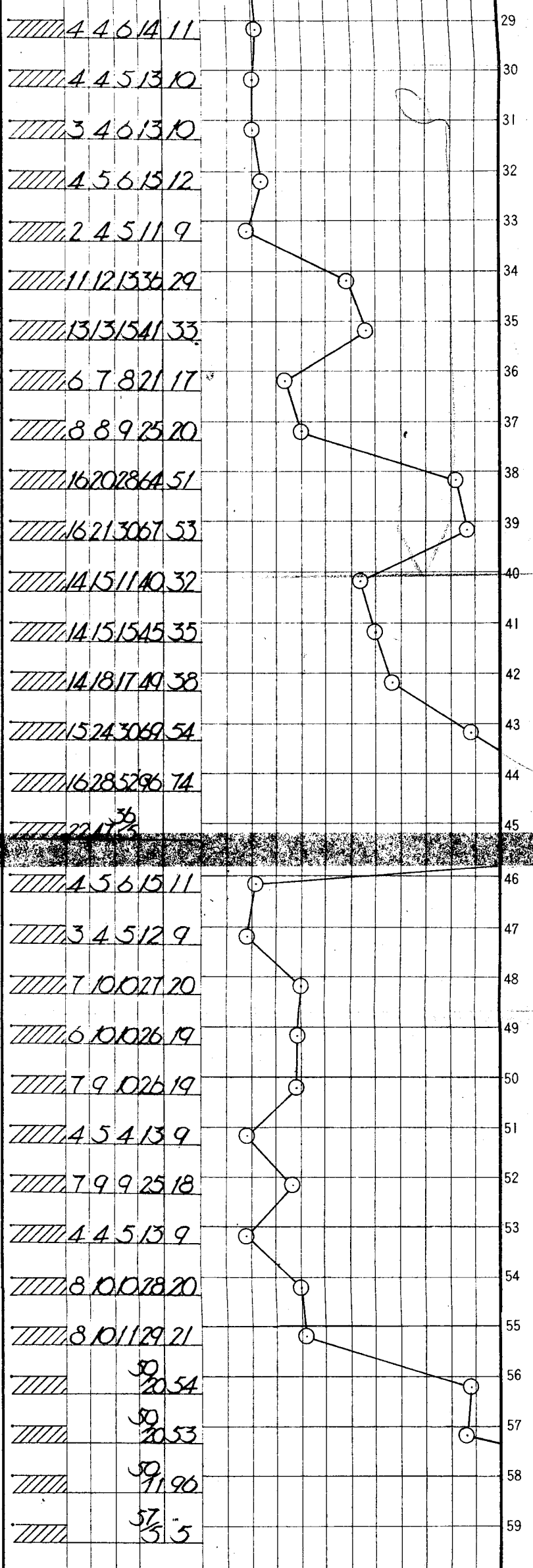
基準面高 -0.33M

地下水位 -1.5M

調査名 鳥取県西部総合事務所増築地質調査委託
 場所 米子市桃町
 期間 54年6月6日~54年7月6日
 調査 (株)サンイン技術士センター
 調査員 川上 昭 照



29		粘土混り砂	灰褐色	中位	細粒分が粘性土。支持力は良ない。不良。	29.25	
30	30.00	2.80				29.25	
31	31.10	1.10	シルト質粘土	青灰色	がたい	粗粒砂を若干含むが目立ない。	30.30
32	31.80	0.70	粗粒砂混り粘土	茶褐色	中位	粗粒砂が目立つ。maxφ10mm程度の小石転在。	31.30
33	32.70	0.90	中粒砂	灰白色	中位		32.20
34	33.90	1.20	粘土	青灰色	がたい	塑性大	33.30
35	35.10	1.20	中粒砂混りの粘土質シルト	青灰色	密な	中粒砂を含むが目立ない。	34.30
36	35.90	0.80	粘土混り砂	灰白色	密な	maxφ20mm支持力は良。	35.25
37	36.80	0.90	粘土混り粗砂	暗灰	中位	細粒分は粘性土。支持力は良又不良	36.25
38	37.80	1.00	粘質土	黄灰色	非常にがたい	塑性の大きい粘土。支持力良又不良	37.30
39							38.25
40							39.25
41							40.30
42			微細砂~細砂	暗灰色	非常に密な	微細砂と細砂が相互に分布しその厚は不規則で細砂の厚はmaxφ30mm程度の厚さが転在する。密な砂層で水引はないが崩壊性小。微細砂でも若干のシー現象が顕著で乾燥強度が低い。支持力は良	41.30
43							42.30
44							43.30
45							44.20
46							45.30
47			粘性土	暗灰~茶褐色	がたい	塑性の大きい粘土。支持力は可	46.30
48	48.00	2.30					47.30
49			火山灰質細砂	黄灰色~青灰色	中位	細粒分は火山灰性粘土。支持力可。	48.25
50	50.50	2.50					49.30
51							50.30
52							51.30
53			粘土~火山灰質粘性土	黄褐色~暗灰色	非常に硬一部固結状	暗灰色の粘土と黄褐色の火山灰質粘性土が相互に分布し厚は不規則である。支持力は可。	52.30
54							53.30
55	55.80	5.30					54.30
56			火山灰質細砂	黄褐色~灰褐色	非常に密	細粒分は火山灰性粘土で、水引はきつである程度までが認められる。支持力良。	55.30
57							56.25
58							57.20
59	59.30	3.50					58.25
60							59.05



No. 2 地点

土質柱状図

基準面高 - 0.47

地下水位 - 1.10 M

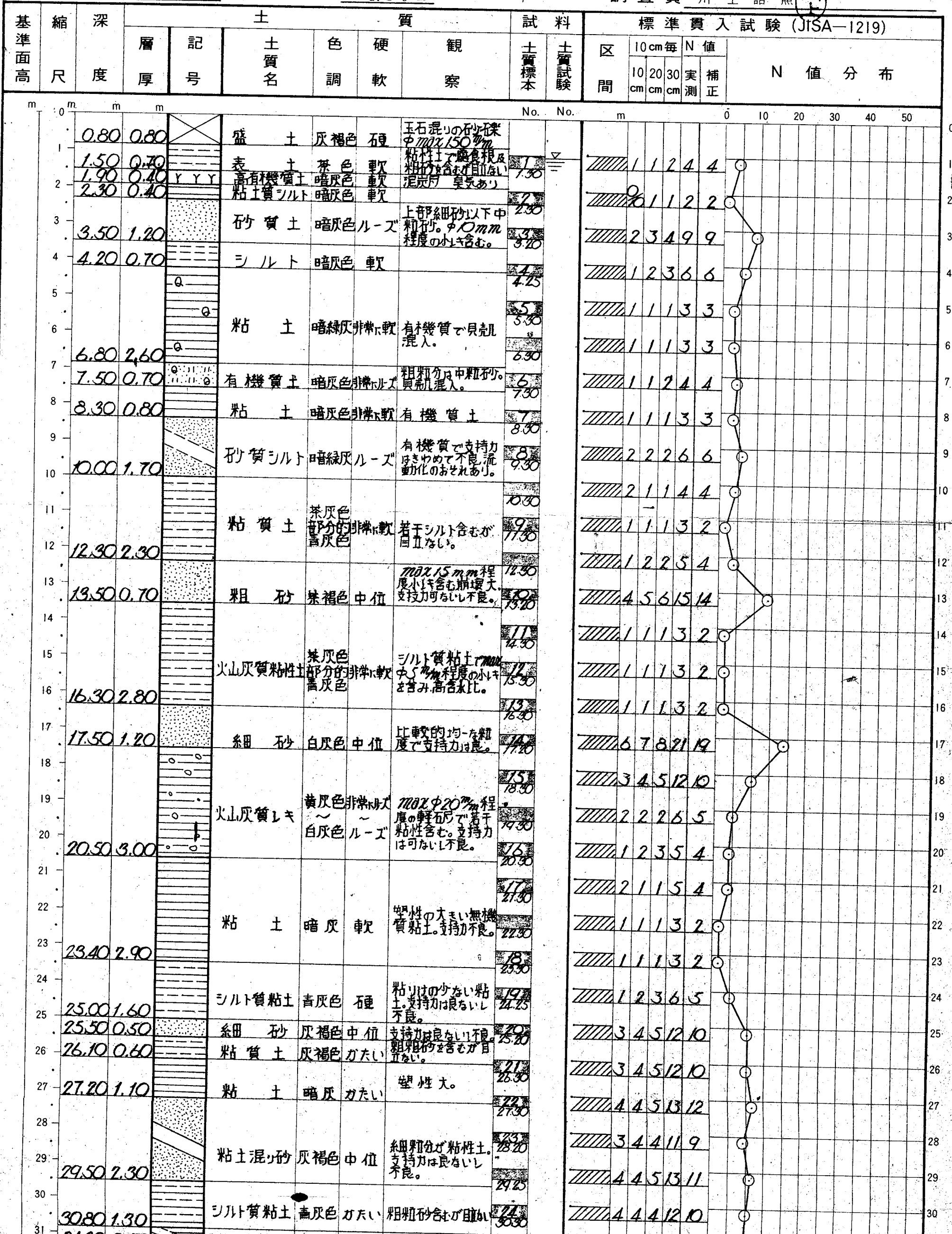
調査名 鳥取県西部総合事務所増築地質調査委託

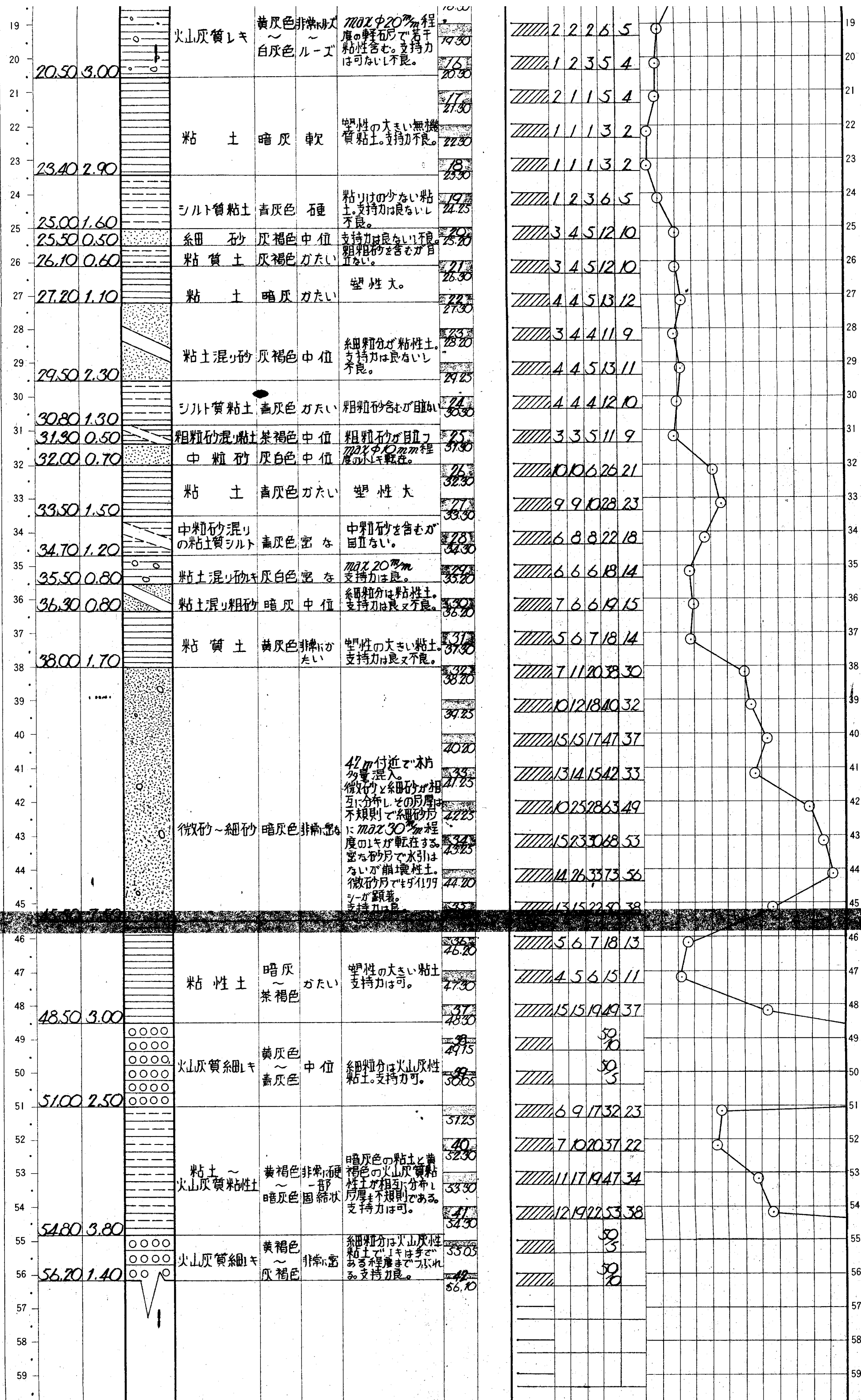
場所 米子市統町

期間 54年6月6日~54年7月6日

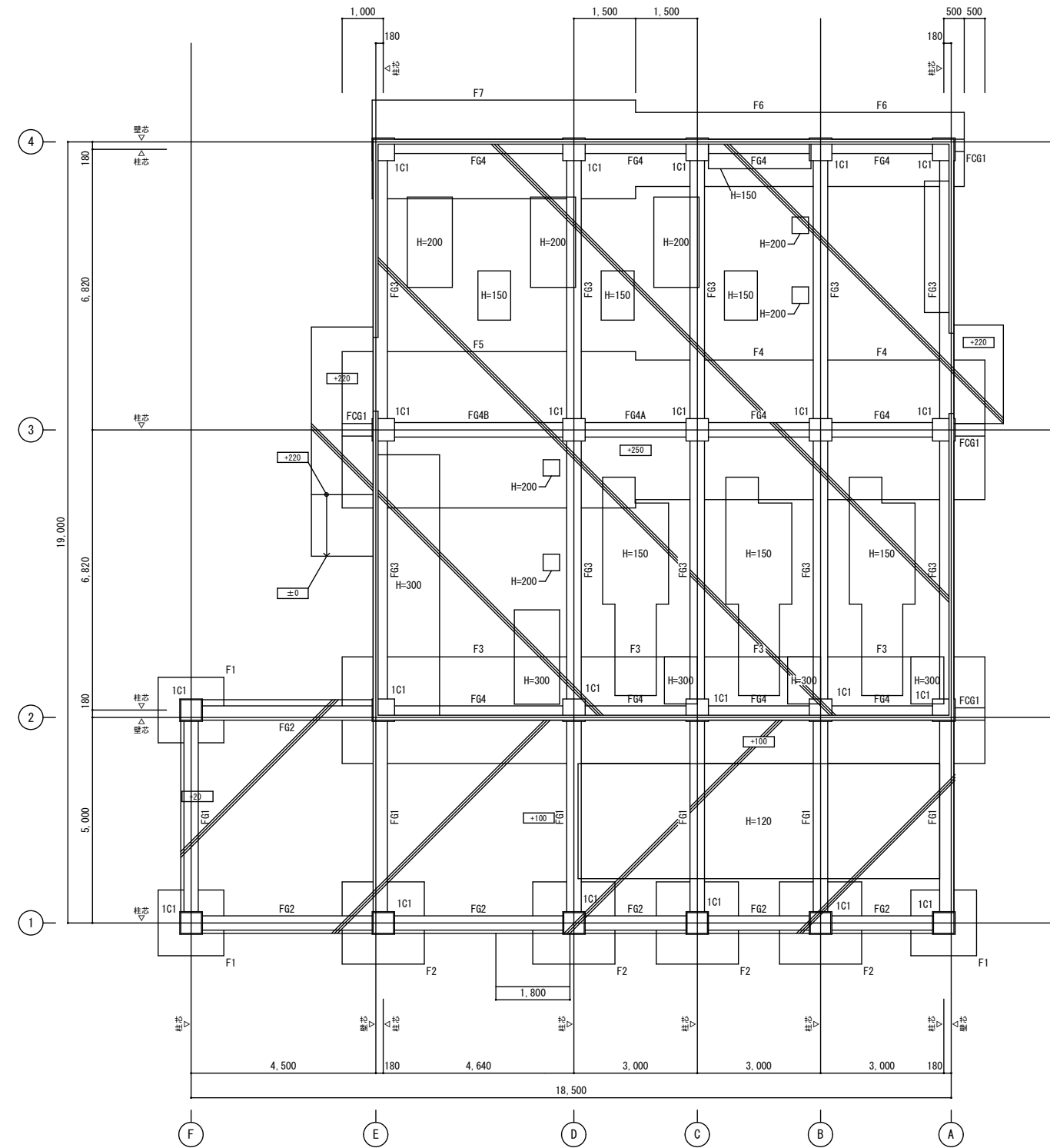
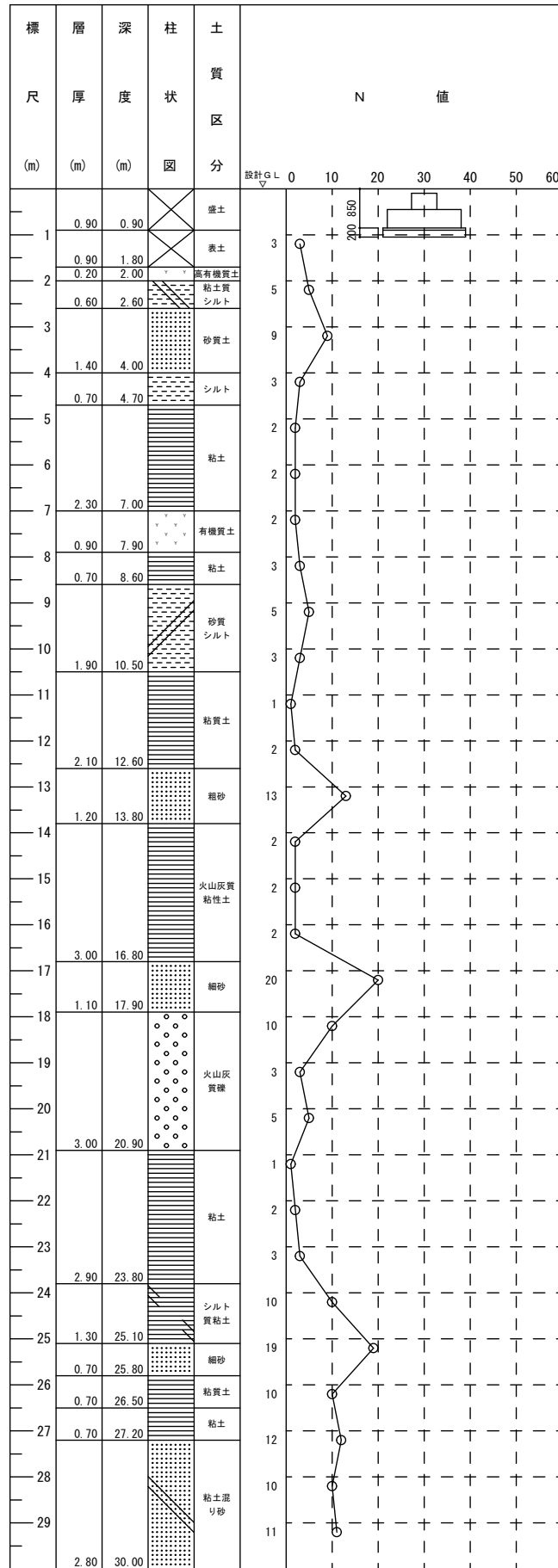
調査 (株)サンイン技術士センター

調査員 川上 詔 照





土質柱状図



基礎伏図 S=1:100

- 特記事項
- 特記無き立上り壁は W12 とする。
 - 内の数値は、G L から土間コンクリートまでのレベル差を示す。
 - 左記表示範囲は、土間コンクリート $\phi 150$ の範囲を示す。
土間配筋 D10 $\phi 200$ 4 \times 3 \times 共 シングル
砕石 (C-40) $\phi 120$ 転圧
 - 左記表示範囲は、土間コンクリート $\phi 120$ の範囲を示す。
土間配筋 D10 $\phi 200$ 4 \times 3 \times 共 シングル
砕石 (C-40) $\phi 120$ 転圧
 - H = は、設備機器架台基礎の土間コンクリートからの高さを示す。